

### 第3章 井野長割遺跡の現状

#### 1. 史跡周辺の現状 (第3図)

史跡の大部分とその周囲は、井野東土地区画整理事業地内にあたる。当事業地は、都市計画法第5条で定める佐倉市都市計画区域で、平成13年3月30日付けで同法第7条に定める市街化区域及び、同法第8条で定める第一種低層住居専用地域、同法第12条で定める土地区画整理事業の区域が決定されている。区画整理事業は、平成13年の都市計画決定を受けた後、平成14年7月から平成24年2月に施行され完結している。施工面積は約47.9ha、計画人口は約4,800人である。

平成19年には、佐倉市都市計画内で史跡指定地は「遺跡保存地区」として、遺跡の保存と近接する公園との一体利用を図るとする土地利用方針が定められた。史跡の東側に隣接する長割公園と同じく西側に近接する井野っ子山公園は都市公園法に基づく都市計画公園に指定されており、所管課である市公園緑地課が維持管理を行っている。

長割公園は、全面ダスト舗装で南側半分に水飲み場と簡易な遊具が設置されている。井野っ子山公園は、雑木林の中に碎石敷きの散策路が整備され、ベンチと進入口に水飲み場が設置されている。

指定地の北西部は市立井野小学校の敷地内にあり、自然観察園として学校教育で利用されている。小学校建設の造成工事によってすべての遺構が失われたと考えられていたが、遺跡範囲と内容確認調査の結果、遺構・遺物が残存していることが判明した。平成17年には、児童数の増加に対応するための仮設校舎2棟の建設に伴い、試掘及び確認調査を実施した。現在、2階建の仮設校舎1棟の地下に縄文時代中期の土坑1基を保存している。

史跡の南側には、国道296号線の混雑緩和のため幅員16mのバイパス道路（通称「八千代バイパス」）が平成24年3月21日に供用開始となった。



史跡南側からの近景

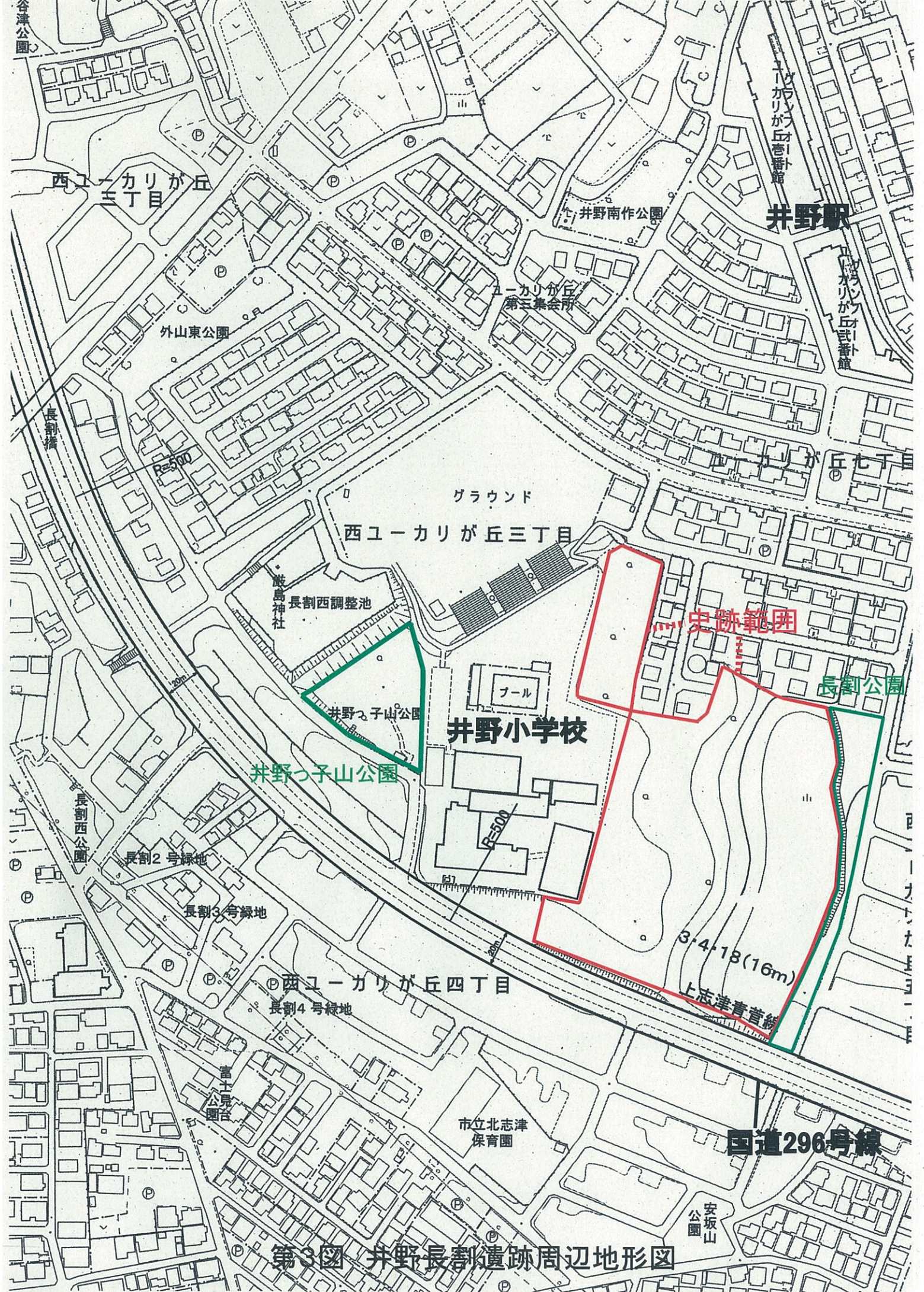
史跡南側の国道296号線

#### 2. 史跡内の現状

##### (1) 植生

平成24年4月と5月に実施した植生調査によれば、指定地のうち学校敷地内の自然観察園（井野っ子山）には、コナラ・クリ・クヌギ・スダジイ・マテバシイなどの樹木が分布している。また、指定地の主たる範囲内には、イヌシデ、シラカシ、コナラなどの樹木43種のほか、ナルコユリ、ヤマユリなどの希少種が分布している（表2）。なお、希少種のうち、アマナ・キンラン・ササバギンラン・ジュウニヒトエ・トモエソウ・ナツノハナワラビ・ワニグチソウは千葉県レッドデータブックに登録されている絶滅危惧種である。イヌシデは近世以降に薪炭を採るために植樹されたものと考えられる。また、直線的な配列をするシラカシも近世以降に薪炭を採るために地境の目印を兼ねて植樹されたものと考えられる。





谷津公園

西ユーカリが丘  
三丁目

井野駅

外山東公園

井野南作公園

ユーカリが丘  
第三集会所

ユーカリが丘  
武蔵野公園

グラウンド

西ユーカリが丘三丁目

長割西調整池  
蔵島神社

史跡範囲

長割公園

井野っ子山公園

井野小学校

井野っ子山公園

プール

長割西公園

長割2号緑地

長割3号緑地

西ユーカリが丘四丁目  
長割4号緑地

3.4.18(16m)  
上志津青菅線

市立北志津  
保育園

国道296号線

安坂山  
公園

第3図 井野長割遺跡周辺地形図



表2 史跡内植生種名一覧

樹木名		草本名	
アオキ	ゴンズイ	アマナ	チゴユリ
イヌザクラ	サワフタギ	イヌビワ(木)	ツクバトリカブト
イヌシデ	シロダモ	ウグイスカグラ(木)	トモエソウ
イヌツゲ	シラカシ	ウド	ナツノハナワラビ
イヌビワ	スダジイ	ウラシマソウ	ナルコユリ
イボタノキ	ソメイヨシノ	オオバトンボソウ	ノダケ
ウグイスカズラ	ニガキ	オカトラノオ	ヒメヒオウギズイセン?
ウツギ	ニシキギ	オトコエシ	ヒヨドリバナ
ウワミズザクラ	ニワトコ	キツネノカミソリ	フタリシツカ
エゴノキ	ヌルデ	キバナアキギリ	ホトギス
エノキ	ネズミモチ	キンラン	ホトギスs.p
オオシマザクラ	ネムノキ	コゴメウツギ	マムシグサ
カキノキ	ハリギリ	ササバギラン	ミズタマソウ
ガマズミ	ヒカサキ	ジュウニヒトエ	ヤマホトギス
カマツカ	フジ	シラスゲ	ヤマユリ
クサギ	ホオノキ	タチツボスミレ	ワニグチソウ
クマシデ	マユミ		
クマノミズキ	ムクノキ		
クヌギ	ムラサキシキブ		
クリ	ヤマコウバシ		
ケヤキ	ヤマザクラ		
コナラ	サクラs.p		
コブシ			

(2) 維持管理状況

史跡の管理は、小学校内については保護者で結成されたビオトープの会による草木の手入れが定期的に行われており、その他は佐倉市教育委員会文化課が盛土を除いた部分の下草刈りや指定範囲を越境している枝の剪定を定期的に行っている。また、仮設説明板のパンフレットが汚損した場合は、文化課職員が随時貼り直している。



史跡内現況 (盛土刈り残し)



史跡内現況 (小学校内)

(3) 普及活用状況

史跡の周知を図るため、平成17年度に指定地の北側入口に標柱を設置した。定期的な学習の機会としては、「佐倉市民カレッジ」や「しづ学入門」といった一般成人向けの公民館主催事



業の中で井野長割遺跡に関する講座を継続して実施している。井野小学校では、6学年の授業（総合の時間）で井野長割遺跡を取り上げ、年1回（春季）出土遺物を参考にした土器作りと土器焼きを文化課職員の指導のもとで実施している。



土器焼き（井野小学校）